

わが家の逸品～宝物展

枕崎の市民の方々から寄せられた貴重な品、珍しい品など宝物とされているものを展示いたします。

会期 1月6日(火)～25日(日)

会場 南浜館(第1展示場ケース内) 観覧無料

主な展示品 ○戦後父がラバウルから持ち帰った「ラッパ」○ローマ法王から直接いただいた「メダル」○サッカー選手・ロナウジーニョの通訳をした時にもらった「直筆サイン入りTシャツ」など

サンサン太陽こども絵画展

ふじ保育園の園児による元気いっぱい創造力豊かな作品を展示いたします。

会期 1月27日(火)～2月8日(日)

会場 南浜館(市民ギャラリー) 観覧無料

主催 ふじ保育園

鹿児島島の美しい風景百景展2009in枕崎

鹿児島島の天文館画廊で開催されたサムホールサイズ(22.7×15.8号)の公募展を南浜館で開催します。この作品展は、鹿児島島の懐かしい故郷の風景や、未来に伝え残しておきたい風景を再発見する目的で鹿児島市の文化芸術団体と枕崎せんじ会などが共催して開催するものです。

会場 南浜館 観覧無料

会期 1月24日(土)～2月1日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※初日は正午から、最終日は午後4時まで

オープニング行事 1月24日(土) 正午～

・出品者と市民を交えた作品鑑賞(交流)会
審査員や出品者の作品解説を交えながら、市民の方々とともに作品を鑑賞する楽しい交流会です。
主催 枕崎せんじ会、アートホール、文化芸術支援NPO PandA、NPO法人かごしま夢未来

原邦洋マジックショー～チケット発売中

霧島市(旧霧島町)生まれで、県内を中心に全国で幅広く活動をしているマジシャン・原邦洋(はらくにひろ)氏によるマジックショーを開催いたします。30年にわたるキャリアに裏打ちされたマジックの数々。ぜひご覧ください。

日時 2月22日(日)

午後4時開場 4時30分開演(約20分)

会場 南浜館(第2展示場)

入場料 大人400円、中学生以下200円

チケットお求め先 南浜館(市文化課) TEL72-9998

※入場に限りがありますので早めにお求めください。

主催 風の芸術展実行委員会

協賛 社団法人鹿児島県建築士会南薩支部



■ブラジル鹿児島県人会創立95周年式典や在ブラジルの枕崎出身者を紹介しています。

▼3日目の11月16日は、いよいよ本番の「ブラジル鹿児島県人会創立九十五周年及び県民移民百周年記念式典」の日。晴天にも恵まれブラジル各地方から約800人の鹿児島関係者が、昔、鹿児島県人の方々が開墾したモロンビの丘にあるクラブ・バイマイラス・モロンビに集まりました。
式典は、ブラジル鹿児島県人会長園田氏のあいさつに始まり、伊藤県知事、山田県議会副議長等の祝辞が述べられました。続いて、県知事による高齢者表彰、県人会功労表彰等があり、県人会から県知事や県議会等に感謝状の贈呈が行われました。
また、特別功労表彰では、長年県人会運営に携わり、現在の名誉会長で前枕崎会長でもあった池上忍氏に表彰状が手渡されました。
続いて、長寿者への祝儀・記念品等が贈呈されました。さらに、県費留学生・海外技術研修生代表



▲池上忍名誉会長と伊藤知事らによる鏡割り。この後、盛大に交流会が行われました。

の母県に対する謝辞、鹿児島県ブラジル研修生代表の謝辞などがありました。
今回は特別に、西郷隆盛と桜島をメインにイラストした「九十五周年記念郵便スタンプ」の発行セレモニーもありました。会場には枕崎出身の二世・三世・四世の方々の懐かしい大勢の顔がありました。また、本市出身の森・浩さんの絵画も会場に展示され、本人も元気な顔をみせてくれました。
池上名誉会長の乾杯で記念祝賀会が始まり、各団体の舞踏やカラオケ等で盛り上がりました。最後はサンバの速いリズムにのって参加者が踊りながら輪になり、若いも若きもしばし時間を忘れるくらい、汗だくになって交流し、また5年後の再会を約束して閉会となりました。

■観光ボランティアガイドからのお知らせ 展望台への火之神平和展望台への訪問者数が1万人を突破

平成20年4月20日から枕崎市観光協会の委嘱を受けた6名の市民が、火之神平和祈念展望台のボランティアガイドを始めましたところ、11月末までの200日間北海道から沖縄など全国から1万名を超える訪問客がありました。
情緒的な言葉を排し、現代史の1ページとしての説明に徹し、日米双方の資料による詳しい説明に、大変喜んでいただいています。
今年もNHK大河ドラマ「篤姫」の効果もありましたが、市観光協会からの働きかけで、お魚センターなどを訪れるバス会社に呼びかけていた結果、立ち寄るバスツアーが増加しました。
また、昨年のお盆は灯笼にライトアップも試みましたが、今年は本格的に行う予定ですのでご期待ください。



▲ボランティアガイドのメンバー

左から北川忠武さん(緑町)、上釜幸弘さん(寿町)、片山孝一さん(岩戸町)、上木原末男さん(明和町)、瀬戸口繁さん(妙見町)。身に着けているタウンジャケットは、衣料品店を営まれている豊留伸一郎さんから寄贈していただいたものです。

■会員を募集しています。希望者は市水産商工課(TEL72-1111内線462)にお問合せください。



日置市吉利地区公民館が東白沢公民館を視察

「共生・協働」の地域社会づくりを意見交換

■投稿者:東白沢公民館

去る11月22日、日置市吉利地区公民館の19名の皆様が東白沢公民館(村野欣一館長)を訪れ、「共生・協働」の地域づくりや公民館の運営方法などについて意見交換を行いました。
東白沢公民館は、かねてより「自分たちでできる事は自分たちでどうにかしていきたい」という伝統が根付いています。現代の道普請といえる集落道(里道)の補修・改修工事や市から不要な中古のロードミラーを譲り受け、必要な箇所に取付けたり、更には防犯灯の補修工事等を自分で行っています。今回、その仕組みや公民館の運営について意見交換を行いました。

特に興味を持たれたのは、集落道の改修工事や畑灌漑路の草払い事業を館員がボランティアでやっていることや道路拡幅に伴う土地は地主さんが無償で提供してくれていることなど。非常に勉強になり持ち帰り参考にしたとのことでした。
なお、東白沢公民館の「共生・協働」の取組みについて、県の広報紙である「グラフかごしま11月号」で紹介されています。



乗りなれた自転車でも真剣に運転方法を学んだ

立神小学校児童を対象に自転車教室

■投稿者:中尾東三郎さん

南海自動車学校で10月8日、自転車教室が行われ、立神小学校の4・5年生が参加しました。正しい自転車の乗り方や手による合図の出し方、安全確認の方法等を教わりました。
児童たちは自動車学校内のコースを手による合図を使い、そして安全確認を正しく行って走ったり、スラロームや一本橋を使った難しいコースにもチャレンジしました。
この教室の感想文の中から一部をご紹介します。(抜粋)

「やっぱり自転車でも左右のかくにんや前後のかくにんも大切だと知りました。それにヘルメットもとても大切な物です。事故をしたときに頭を守ってくれます。たのしくりたりとした乗り方を教えてもらったので今はそういうところを気を付けています。(立神小学校5年 村上れん君)
自転車は気軽に便利な乗り物ですが、児童たちも、乗り方を間違ってしまうと悲惨な交通事故にもなりかねないという事を勉強し、今日学んだ運転を忘れずに実行することを約束しました。」